



ゆうすい NEWS No.41

平成 24 年 2012. 6. 21 発行



三島ゆうすい会事務局 〒411-0037 静岡県三島市泉町 5-3

Fax 055-975-6516 E-mail info@yusui.org

URL http://www.yusui.org/

※事務局員は常駐しません。

E-mail や Fax で、ご連絡いただくと助かります。

題字:大岡 信氏(詩人)

平成24(2012)年度・第21回三島ゆうすい会総会開催



平成 24 年 3 月 3 日 (土) 16:00 より、Via701 で第 21 回総会が開催されました。司会は、水野幾子理事が務め、塚田冷子会長の挨拶で始まりました。ご来賓からは、碓井宏政三島市議会議長、諏訪部敏之三島商工会議所会頭、山形武弘三島市観光協会会長の順に、ご挨拶をいただきました。

総会では、青木利治理事が議長を務め、議事録作成人(大村皖伸理事)、議事録署名人(中西康德理事、広川敏雄理事)を指名しました。平成 23 年度の事業報告(大村洋子事務局長)、決算報告(佐藤久美子理事)、監査報告(山口厚監事)がなされ、会則および役員・組織に関する件は、大村洋子事務局長から新役員等の報告がありました。次に、平成 24 年度の事業計画、予算案が同様に提案され、いずれも承認されました。

17:00 からの総会記念講演会は、講師紹介・進行役を小松幸子副会長が務め、演題「うなぎの博物誌」を、講師の東京大学助教・黒木真理先生から、三島にも関係の深い貴重なお話をいただきました。(P2 をご参照ください!)



塚田冷子三島ゆうすい会会長(上)、碓井宏政三島市議会議長(左)、諏訪部敏之三島商工会議所会頭(中)、山形武弘三島市観光協会会長(右)

平成 24 年度・役員名簿

- 会長：塚田 冷子 副会長：小松 幸子、秋山 峰治
 事務局長：大村 洋子
 理事：小浜 修一郎、岩田 重理、青木 利治、広川 敏雄、
 佐伯 忠夫、中西 康德、水野 幾子、佐藤 久美子、
 柴原 俊介、宇水 勉、大村 皖伸、平林 紘治
 監事：山口 厚 相談役：渡辺 豊博
 運営委員：福場 正視、杉橋 芳夫、庄司 峯子、山梨 一正、
 間野 孝次、越沼 正、青野 雅枝、大庭 治美、岡野 久代、
 桑原 英子、松根 典子、米山 友子、坂井 良重、
 西川 勝美
 顧問：中川 和郎、山岡 修一、小野 徹、落合 義朗、渡辺 妙子、
 志村 肇、木下 秀彰
 専門家：杉山 恵一、西岡 昭夫、渡辺 佐一郎
 名誉顧問：大岡 信(詩人)、富士 眞奈美(女優)、
 吉行 和子(女優)、藤田 弓子(女優)
 名誉会長：緒明 實



講演中の東京大学助教・黒木真理先生(左)、豊岡武士三島市長(中)、宮崎眞行三島市産業振興部長(右)

18:15 からは、秋山峰治副会長の進行で交流会が開かれ、黒木真理先生の講演に感動したという感想や、今年度の新事業などについても、話はいつまでも、はずみました。多忙な中、駆け付けてくださった豊岡武士三島市長や宮崎眞行三島市産業振興部長からも、ご挨拶をいただきました。



熱心な総会(左)に続き、和やかな交流会(中)が始まりました。席上、山岡修一顧問(右)から「三島ゆうすい会」へ、いつもの熱いエールが送られました。今年度は、小規模水力発電について学ぶ新しいプランも企画の予定です。ご期待ください。



講演会の講師・東京大学助教の黒木真理先生やご来賓の方々を囲んでの記念撮影



ニホンウナギの他に、ヨーロッパウナギ、アメリカウナギ等がいるということは、広範囲な研究の成果が期待できるということではないでしょうか。

パワーポイントによる興味深い映像と説明が続き、皆、改めて、ウナギの生態を深めました。

講演「うなぎの博物誌」より

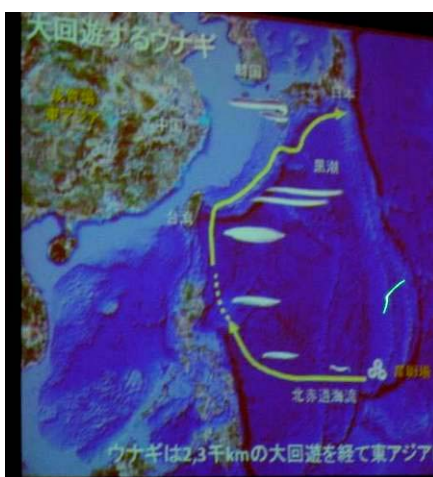
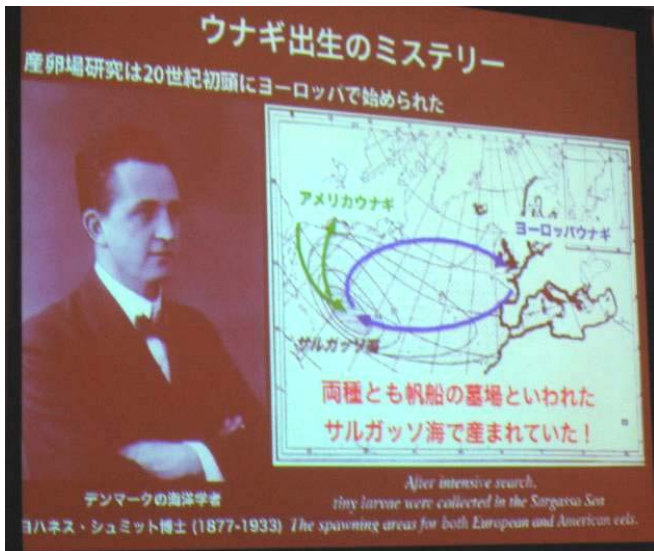
日本ではウナギは滋養食物として知られ、年間約10万トンも食べられる重要な食物源です。太古の昔から食べられています。江戸時代には「蒲焼き」という調理法が生まれ、明治時代になると養鰻場が発展し、静岡の浜名湖はウナギ養殖の中心地となりました。

ウナギは一般的な魚と体つき、動き方の違いから特別な生き物として捉えられ、食べ物以外に、文学や絵画として描き残され、文化や信仰にも深く根付いたユニークな生き物となっています。

ウナギは海と川を行き来する回遊魚ですが、海での生態はよく分かっていませんでした。特にその産卵場は長い間不明で、日本では1930年代から産卵場調査が始められ、70年以上続けられました。2009年に初めて、天然ウナギの卵が西マリアナ海嶺南端で発見されました。この発見は未知の産卵生態を解く鍵となり、またウナギ資源の保全と管理にも役立つものと期待されます。

現在、ウナギの資源量は世界的に激減しています。その原因としてシラスウナギの乱獲や河川環境の悪化、海洋環境の変動、ダムのタービンによる回遊中の親ウナギの死亡、外来の寄生虫等が挙げられます。

一方、養殖種苗の安定供給を目指し、1960年頃からシラスウナギの人工生産技術の開発研究が行われ、昨年は人工シラスを育て親魚とし、これから第2世代目の工卵を得る「完全養殖」に成功しています。人工シラスで養殖用の種苗がまかなわれるようになれば、天然ウナギの乱獲を抑制し、ウナギ資源の保全を図ることが出来るようになります。天然ウナギ増産のためには、よい自然環境を取り戻すことも、大きなポイントになるでしょう。



毎月第2日曜日の10時から保全活動を続けています。日本大学のアメリカ人留学生のジェイソン・カンタウィイさんも、毎回のように参加しています。足のサイズが31cmなので合う長靴がなく、6月になったらスイミング用ウェアでの作業となりました。彼は、夜も時々訪れては、ミシマバイカモの手入れをしてくれているそうです。

「三島梅花藻の里」の保全活動



小水力発電実務研修会への参加



大村皖伸理事



平林紘治理事

かつて三島の街には多くの水車が回り、動力源として使われていました。今、地球温暖化防止や福島原発事故の反省から、再生可能エネルギーの活用が叫ばれ、小水力発電の利用が脚光を浴びています。水の都復活をめざす三島ゆうすい会も小水力発電の勉強を始めることとなり、5月25～26日、東京都豊島区の会場で開催された実務研修会に、大村皖伸理事と平林紘治理事が参加しました。

「研修会では、中小水力発電の現状、法的手続き、資金調達、建設事例、設備例、発電事業の事例などを学びました。この7月1日からは再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が発足します。まずは、身近な水路で啓発用のデモンストレーション発電が出来るようにしたいと考えています」と、大村皖伸理事は語っていました。



実務研修会で提供された資料の数々



三島市河川一斉清掃に参加協力

四季折々に美しい三島市内の河川。毎年5月第2日曜日に実施される河川清掃に、今年も参加しました。



願いを込めモクズガニの放流



4月16日、秋山峰治副会長と中西康徳理事が中心になり、恒例のモクズガニの放流を、菰池、桜川、沢地川、山田川、夏梅木川等々で行いました。昔の「三島っ子」に放流された約70kgのモクズガニは、今の「三島っ子」と遊ぶ夢を託されているのです。「元気に育ってね！」は、三島ゆうすい会の願いでもあります。



第9回「身近な水環境の全国一斉調査」



街なか班では、御殿川の水質調査のときに男子中学生3人が手伝ってくれて、頼もしく思いました。



6月3日(日)、第9回「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、三島市内の水質調査を実施しました。この「身近な水環境の一斉調査」は2004年から行われており、本会は第1回目から参加し今年で9年目になります。

調査地点は、源兵衛川(2地点)、桜川、御殿川、大場川(3地点)の4河川7地点で、当日の参加者は塚田冷子会長をはじめ10名。朝8時30分に塚田会長宅に集合し、簡単な打合せを行った後、所用のため調査には同行できなかった小松幸子副会長に見送られながら、大場川班(車で移動)とその他河川を担当する街なか班(徒歩)の二手に分かれて出発しました。

この日は明け方まで強い雨が降り、調査の実施が心配されましたが、集合後は曇り空ながら、持参した傘を使うこともなく、無事に調査を行うことができました。

この全国一斉調査の規定の基本調査項目は、気温、水温、COD(D)で、COD(D)については、一斉調査事務局より送付された試薬を使い、各地点ごとに3回ずつ測定しました。

今回、源兵衛川の芝橋付近では、気温21.7℃、水温16.0℃の状態、COD(D)の値は0~2mg/Lの測定結果が得られ、源兵衛川起点部の水環境がおおむね良好であることが確認できました。昨年は電気伝導度等の調査等も行いましたが、今年は電気伝導度計の故障のため省略しました。

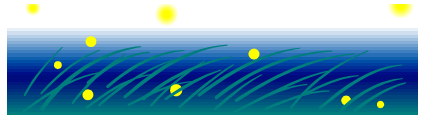
午前10時20分すぎ、まず大場川班が塚田会長宅に戻り、それから数分遅れで街なか班も到着。お互いの調査結果を報告して解散しました。ご参加の皆さま、お疲れさまでした。

今回の調査結果は、後日、全国水環境マップ実行委員会のホームページ URL <http://www.japan-mizumap.org/> でマップとして公開されます。

「三島ホテルまつり」の各所で協力



6月4日(月)に、みしまプラザホテルで開催された「三島ホテルまつり」協賛のチャリティーライブにも、多数が協力。ザ☆楽団 ラリアートと音の魔術師・エミー 竹内の歌声を楽しみました。



6月9日(土)は、朝からの雨が昼過ぎには止み、青空も見せるほどの好天となりました。楽寿園や源兵衛川等での三島ホテルまつりには、1万人以上が訪れ、ゲンジボタルの光に魅せられました。



三島ゆうすい会では、次のような役割分担で協力しました。**本部**：塚田冷子会長、小松幸子副会長、大村洋子事務局長 **設営**：秋山峰治副会長、広川敏雄理事 **入場者カウント**：(駅前口) 宇水勉理事、柴原俊介理事、佐伯忠夫理事、(正門) 大庭治美運営委員と知人の協力者 **抽選会景品係**：平林紘治理事、大村皖伸理事、西川勝美運営委員 **売店**：坂井良重運営委員 いずれの協力者も、三島ホテルまつり実行委員会から大変感謝されました。



3月4日(日)に、名誉顧問で女優の藤田弓子さん演出・出演の演劇「メジャーモ・ゲバラ」のチケット購入に協力し、元気なシニアを目指すようなメッセージが込められているという演劇を鑑賞しました。



定例活動のお知らせ

いずれの定例活動も、自由参加です。雨天の時は、原則として休みです。



宮さんの川の清掃

- ・原則 毎朝 6:30～
- ・宮さんの川へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「宮さんの川を守る会」とともに、清掃します。

「三島梅花藻の里」で

ミシマバイカモ保全活動

- ・原則毎月第2日曜日 10:00～
- ・三島梅花藻の里へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、草取り道具等



源兵衛川のいずみ橋から 広瀬橋までのゴミ拾いなど

- ・原則毎週土・日曜日の朝 6:30～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

源兵衛川の清掃

- ・原則毎月第2日曜日 13:00～
- ・水の苑緑地・かわせみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「源兵衛川を愛する会」とともに、清掃します。

桜川清掃

- ・原則毎月第1土曜日 10:00～
- ・白滝公園へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「桜川を愛する会」とともに、清掃します。

会費納入のお願い

本年度分会費の納入にご協力賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

- ★正会費 3,000 円
- ★賛助会費 1口 10,000 円 (何口でも可)

※下記のいずれかに納入してください。
(お振込み先)

- ・郵便振替 0840-4-118192
加入者名：三島ゆうすい会
- ・静岡銀行三島支店
普通預金 No.0346532
口座名：三島ゆうすい会
会長 塚田冷子
- ・スルガ銀行三島セントラル支店
普通預金 No.572969
口座名：三島ゆうすい会
会長 塚田冷子
- ・三島信用金庫西支店
普通預金 No.1042399
口座名：三島ゆうすい会
会長 塚田冷子